

<委員会報告：米山奨学会委員会：中原光男委員長>

「クラブ米山記念奨学会委員長セミナー」が 8 月 25 日（日）に開催されました。

「松戸北 RC」は委員長、中原光男が出席してまいりました。PM2:00 より点鐘、3 時間みっちりの勉強会でした。

特に今回は、福岡県（2700 地区）の宗像 RC より米山奨学会の理事、安増様が出席されて、大変解り安い話術で出席者の好評を得ました。



「クラブ米山委員長の役割」

- (1) 奨学事業の理解促進
- (2) 寄付の増進
- (3) 奨学生、学友との交流促進と広報

私は、以上の 3 つをこなせば事足りるということですが、なか々スムーズにはいきません

(1)については、「ロータリー米山記念奨学事業・豆辞典」が毎年発行され各会員に配布されております、この豆辞典を見ればこの事業の説明は事足りります。立派な解り安い「テキスト」です。

(2)については、「寄付金集め」本当はこれが一番大事な要件だ、何しろこれが無いと事業は成立しない。2790 地区は、2013～14 年度寄付金の結果によると、1 人当たり年間、15,300 円となっている。丁度中間当りである。一位は 2590 地区（神奈川）28,900 円／年人、2 位は 2770 地区（埼玉）23,800 円、そして 3 位が 2820 地区（茨城）23,600 円。このデータは「ハイライトよねやま 2013.7.21 発行」に載っております。我がクラブは、普通寄付 4,000 円／1 人、特別寄付 10,000 円／1 人と計 14,000 円／1 人の寄付となっております。2790 地区の平均より少しすくないくらいです。なお寄付については色々な意見があります。

特に米山奨学生の人数は、中国が一番そして 2 番が韓国です。今日本は両国との関係が良い方ではありません、領土問題と戦後処理についての国民感情は悪くなるばかりです。そんな中どうして留学生の支援のための寄付をするのか、との大変厳しい質問もありました。明確な回答はありませんでしたが、米山奨学の学友が母国において「平和国日本」をアピールする外にはない、との事であり、従って学友を今後とも絶やさぬようにすることが必要だ。とのことで、解ったようで解らない、しかし、支援は続けたい、その事については出席者の賛同を得ました。

(3)については奨学生が学友となり、連絡がとれなくなる、これは避けたい「支援金だけを受け取り、後は無のつづて」では困る。当たり前のことです、

「奉仕について見返りを求めない」とは言ってもこれは困るということなのです。

そのためには、

- ① 学生の世話クラブとなり、カウンセラーと学生の連絡を密にし、留学生の卓話を例会で行うこと、等を実施し、留学生とロータリーアンの理解を深めることである。
- ② 年賀状のやりとりを学友、カウンセラーと絶やさぬ。

米山奨学事業は、ロータリー事業の目に見える奉仕事業であります。

奨学生の母国間の意識は違うと思いますが、やはり奉仕の火を消してはいけません。

そして学友が母国に帰り日本語を教える先生となり、日本国の理解に努力している、という報告もありました。中国の学友ですが、「皆様のご協力を今後もよろしくお願い致します」これが本日の結論でした。

＜クラブ奉仕セミナーに出席して：会員増強委員会：高橋 進委員長＞

去る 8 月 9 日（金）午後 1 時点鐘 於千葉市京葉銀行文化プラザで、地区クラブ奉仕委員長が主催するクラブ奉仕セミナーに会員増強委員長である私と、広報委員長の淵上会員と出席してまいりました。

テーマは「元気のあるクラブを目指して（会員増強と公共方法イメージ向上）」です。関口徳雄ガバナーは「元気のあるクラブ」の実現に向けては、会員増強が最も重要な事とっております。ガバナー月信 8 月号では当地区 1994 - 1995 年度 4350 名をピークに、最近 10 年間 2003 - 2004 年度の 3312 名から 2013 年 7 月 1 日現在 2689 名、この 3 年間 545 名が加入したにもかかわらず、会員総数は 151 名減少しています。すなわち退会者数が新規加入者数を大きく上回っています。

関口ガバナーは「元気なクラブ」を実現する為に 2013 - 2014 年度は会員数を 3000 名にとガバナー月信で述べております。セミナーではガバナー挨拶・趣旨説明・アンケート調査発表等。

■ 会員増強取組優秀クラブ事例発表では柏西ロータリークラブと東金ロータリークラブから発表がありました。



柏西ロータリークラブは 2012 - 2013 年度 54 名から新規入会 11 名、全体では退会が 5 名ありますから純増 6 名とのことです。

柏西ロータリークラブは中村パストガバナーが CLP を強く推奨したクラブでした。

このクラブの取組はインターネットでツイッターを活用しているのが特徴です。

会報は全てネット上で発信しており当クラブの様な形態は取っていないとの事です。

東金ロータリークラブは現在 22 名程のクラブです。新規会員は 2 名程で、どうして会員増強取組優秀クラブの発表に選ばれたのか分かりませんが、発表者が言っていたのは、入りたいクラブを目指すとっていたのが印象に残りました。

例えばあの人が居るから入りたい、そんなクラブを目指すとっていました。

私達が忘れていた事です。あの人が居るから入りたくない、では困りものです。

- 広報公共イメージ向上方針・施策説明
- 国際奉仕委員会フェロシップ委員会活動方針
- IT を活用したクラブ活動情報公開

その後「元気なクラブを目指して」グループ討議に入りました。1 テーブル概ね 8 名程度で会員増強グループは 1 ~ 8 テーブル広報グループは 9 ~ 16 テーブルで行われました。

私のテーブルの議論では

①ロータリーは地域に対しての広報活動が殆どない。※ロータリーの手続き要覧に会員増強には新会員の勧誘・現会員の維持・新クラブの結成という三つの要素がある。そして一人でも多くの適格者にクラブに入会してもらい又会員の維持率を高める為にクラブは会員と地域社会にとって重要性保ち、クラブのプログラムと地元地域社会への奉仕を共有し、個々の会員を効率的に従事参加させその関心を絶えず引きつける様な対策を講じるべきであると書かれています。

②ロータリーの徽章が社会に全く知れてない。

③ロータリーは何をしているのか分からない。

④ロータリーに入ると本当にいい事が有ると言うプログラムが有るのか。

⑤はたして景気が悪いから会員が減り続けているのか？等々です。

私見ですが、ガバナーは瞬間でもいいから会員数を 3000 名にして欲しいと言っていますが、

2790 地区 2013 - 2014 でのガバナーは地区として具体的にこうするから、3000 名の会員を確保して欲しい。その為に地区はメディアを活用しインターネットを発信しロータリーの広報公共イメージをしてくれたらと思います。